

交音
かかほのひ
夏

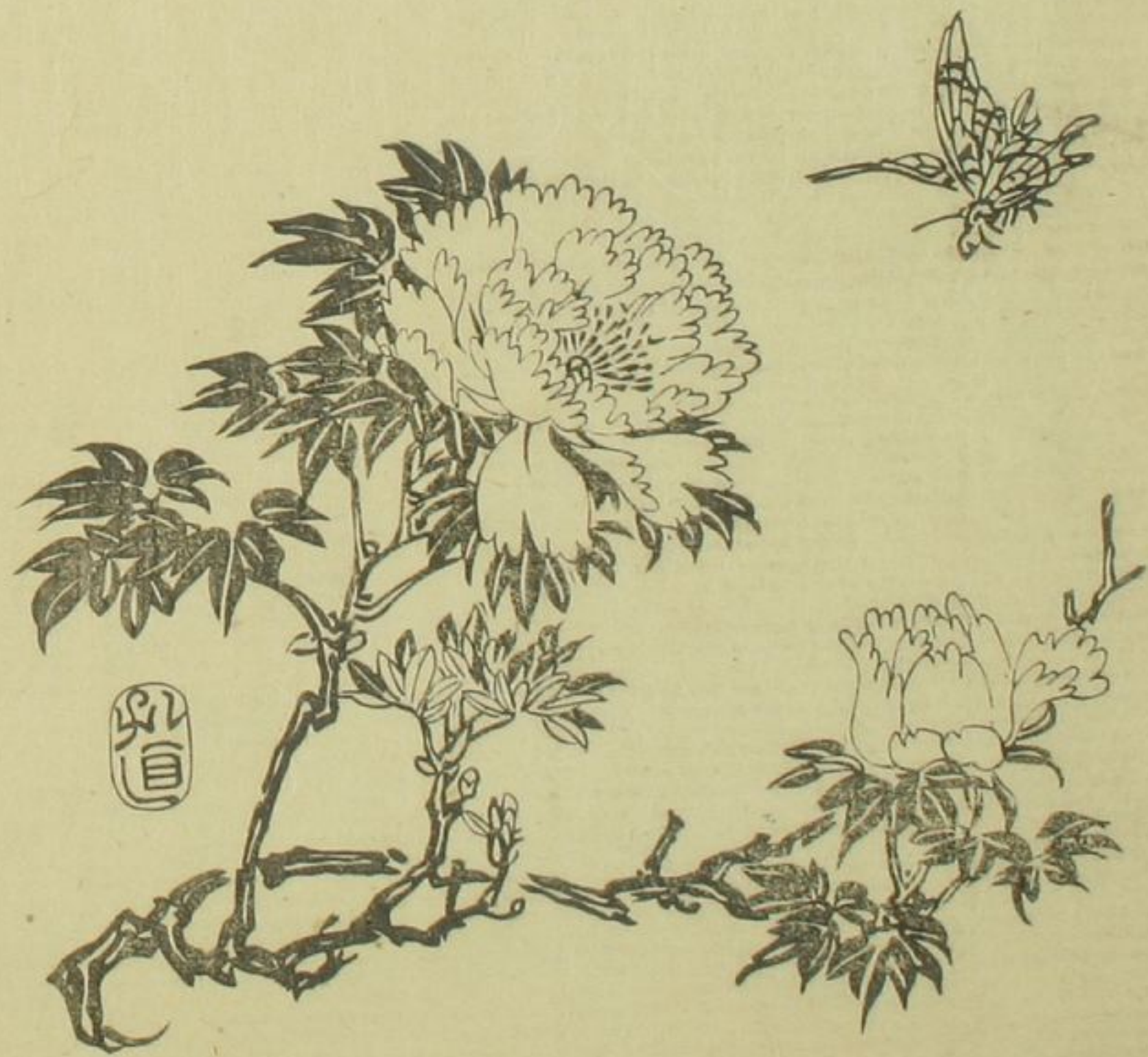
わ 神
た 草
つ 草
ら 草
わ 木
た 木
つ 木
ら 木
む 草



ホ 2
413
?



む 早 左	な 廿九 左	つ 廿三 左	れ 廿七 左	よ 十七 左	わ 初 丁
	ら 四十 左	ね 廿七 左	ろ 三十 右	た 二十 左	か 六 右





ま 一 た かるに

文章假字用格卷之二

豊後 大藏永常著

和部

一言

わ^ワ 和倭王浣^音 廻輪丸^訓

二言

朕 ^{天子の自称}	若	鰐
予	我	割
余	綿	破
吾	腸	和歌

文章假字用格卷

②

黄葉園藏

う ら かつき た

文章假字用格卷二 ②	王地 <small>上と同</small> こらうち	笑 こらひん こらひん	童 こらひん	僮 こらひん	渡 こらひん こらひん	新樹 こらひん	若氣 こらひん	我世 こらひん	吾河 こらひん氏
	王家 こらひん	藁火 こらひん	草鞋 こらひん	纒 こらひん	亘理 こらひん氏	腸煮 こらひん食	和合 こらひん	分 こらひん こらひん	縮 こらひん
	王位 <small>帝位と同</small> こらひん	蕨 こらひん菜	草亭 こらひん	和南 こらひん	渡瀬 こらひん地名	轍 <small>車の輪のあて</small> こらひん	若枝 こらひん	若音 こらひん	別 こらひん
黄葉園藏	王威 こらひん	王土 <small>帝王の土地</small> こらひん	藁屋 こらひん	我等 こらひん	圍 こらひん	若狹 こらひん國名	若菜 こらひん	和漢 こらひん	

かる りとろ せひま きさ けく うらら

破子 こらひん器	惡 こらひん	三言	早稻 こらひん	腋 <small>肘腋</small> こらひん體	鬢 <small>俗にまげといふ</small> こらひん	湧 <small>水のこぼる</small> こらひん	横 こらひん	蹄 こらひん
今の辨當箱の如く昔 はこらひんを持しあり	和睦 こらひん			脇 こらひん	業 こらひん	沸 こらひん	黄 こらひん	藁 こらひん
破 こらひん	我殿 こらひん			鷺 こらひん鳥	事 こらひん	簍 <small>絲をよるもの</small> こらひん器	皇 こらひん	椀 こらひん器
若葉 こらひん	割符 こらひん			侘 こらひん	側 <small>こらひん</small> こらひん	訣 こらひん	往 こらひん	王 こらひん

二言 三言

か る りち にい
すせひあめ き さ こけやく わ

貧	胡臭	早田	倭國	倭厄	賄賂	黃芪	往古
こびり	こさく <small>病</small>	こさく	こく	こやく <small>まひあひのこ</small>	こわろ	こさく <small>藥名</small>	こくご
慄慄	脇屋	和讚	我御前	分葱	和韻	横死	奥義
こびり	こさや <small>氏</small>	こさん	こごぜ	こけさ <small>菜</small>	こわん	こく	こくぎ
渡御	喚	山葵	早穂	和琴	王子	王畿	王畿
こせる	こめく	こさび <small>草</small>	こさか	こごん	こく	こく	こく
志	奔	吾家	態	决	往時	都城	二
こすれ	こる	こさか	こご	こく	こく	近き地を	

三言

か る りち にい

文章假字用格卷二	嫩枝	我國	別路	十八女	割合	輪違	分別
立春の朝早く汲む水をとり	こさく <small>木</small>	こさく <small>日本</small>	こさく	こさく <small>氏</small>	こさく	こさく	こさく
殍	吾朝	若草	若苗	若柴	悪口	無別	脇盾
こく	こさく <small>日本</small>	こさく	こさく	こさく	こさく	こさく	こさく <small>兵器</small>
殍	若君	若栗	嫩苗	若髮	醜語	無破	戾脚
早せとく	こさく	こさく	こさく	こさく	こさく	こさく	こさく
若衆	若水	柔條	若人	若黨	虚俗	鰐口	鰐口
こさく	こさく	こさく	こさく	こさく	こさく	神社より金鼓の	神社より金鼓の

四言

文章假字用格卷二

黄葉園藏

か けひ ぶ さ さ く う

文章假字用格卷二

わ

紀州地名

黄葉園藏

若男 こゝろととこ	鷺尾 ささのこ <small>氏</small>	脇指 わきさし <small>兵</small>	俳優 はいゆう	器用 <small>けう</small> の <small>り</small> 隻 <small>の</small> 柄 <small>なり</small>	黄精 こゝろせい <small>薬名</small>	横産 こゝろえん	往來 こゝろらふ
和歌浦 わかのうら	侘人 わびびと	吾妹 わがむすめ	閣思 かくし	禍 <small>わざはひ</small>	和光 わこう	王羲之 わうぎ <small>人名</small>	王宮 わうきゆう
紀州地名 壯年 こゝろざうり	侘敷 わびしく	和順 わじゆん	脇士 わきし <small>觀音變王の類</small>	災 <small>わざはひ</small>	不慮 ふりょ	王命 <small>わうめい</small> <small>帝王の勅命と同一</small>	往復 <small>わうふく</small> <small>往來といふ同一</small>
	忘井 わすれい <small>伊勢地名</small>	和上 わじやう <small>和尚とあつ</small>	辨 <small>わきま</small>	妖孽 <small>わざはひ</small>	柅 <small>こゝろのえ</small>	王者 <small>わうじや</small>	黄金 <small>こゝろごん</small> <small>寶</small>

五言

うむら お つま じ

王孫 わうそん <small>様の異名</small>	往々 わうわう <small>處々と同一</small>	椀飯 わんべん	童子 どうじ	病 <small>びやう</small> <small>病氣のことなり</small>	私 <small>し</small>	渡殿 わたでん <small>宮</small>	我物 わがもの
往年 わうぜん	横道 わうだう	家人 <small>かじん</small> より主人 <small>しゆじん</small> と 養 <small>やしやう</small> をとりあり	屨 <small>くつ</small>	怙 <small>こゝろ</small> <small>恐ること</small>	吾柄 <small>わがへ</small> <small>矢の根の名</small>	腸觸 <small>ちやうじやく</small> <small>今ハ綿貫とあり</small>	絮入 <small>こぼり</small>
横難 <small>わうなん</small>	黄瘡 <small>わうさう</small> <small>病</small>	黄袍 <small>わうぼう</small> <small>鷺の異名</small>	圓座 <small>えんざ</small> <small>器</small>	戰 <small>せん</small>	纜 <small>りやう</small>	移居 <small>いこ</small>	腸熬 <small>ちやうあう</small> <small>食</small>
王老 <small>わうらう</small> <small>鉄の一名</small>	王孫 <small>わうそん</small>	黄冬 <small>わうとう</small> <small>十二月</small>	温袍 <small>おんぼう</small> <small>賤衣</small>	<small>色は手足より</small> うまき	煩 <small>わづらひ</small>	綿弓 <small>わたゆみ</small>	綿花 <small>わたばな</small>

四言

三

忘水	沸騰	往生	往昔	王鼻	童位	渡守	渡舟	少容
わすしみづ	ふいとう	ぶいじう	むいしやう	わうび	どうい	どうしゆ	どうふね	しうよう
忘貝	鷺山	王城	尪弱	神事 ¹ 用 ² う ³ 稜 ⁴ 田 ⁵ 彦 ⁶ の 假面 ⁷ を ⁸ う ⁹ り	咲種	煩	渡川	綿帽子
わすしがい	ささのやま	わうじやう	わうじやく		さくらいさ	わづらわ	わたがわ	わたぼうし
萱艸	天竺の地名靈鷲山の ことなり	潜	俗 ¹ 柔 ² 弱 ³ と ⁴ 同 ⁵ 一 ⁶ 生 ⁷ れ ⁸ つ ⁹ の ¹⁰ 病 ¹¹ 身 ¹² も ¹³ 同 ¹⁴ 一 ¹⁵	往還	笑具	瘡	海原	蟠
あしな		かづ		わうかん	わらぐ	さう	うみ	わだかま

四言 五言

四

分明	若紫	若公達	私物	童遊	黄檗山	王昭君
めいめい	わしむら	わしきん	しりもの	どうあそび	わうやくさん <small>山城國宇治郡あり</small>	わうせうくん <small>人名</small>
我立拙	我大君	我物顔	煩敷	王霸道	往亡日	汚穢不淨
わがたしづ	わがおほきみ	わがものかほ	わづらわ	わうはのち	わうまうひち	わづらふじやう
若苗色	壯士	私事	童姿	王道覇業を あらせり	曆日 ¹ 記 ² と ³ 同 ⁴ 一 ⁵ わくまじり	
わしないろ	わしむら	しりごと	わらひすがら			

六言

七言

文章假字用格卷二

黄葉園藏

わ 六七八言

十言

五

若松原

伊勢國三重郡あり
こらまつのら

海神

こらづこのかみ

海若

こらづこのかみ

海郷

海宮とらう神代紀に見えり
こらづこのかみ

話頭公案

禪家の詞なり
こらづこのかみ

戦栗

こらづこのかみ

藁人

こらづこのかみ

八言 十言

童殿上

童まゝと殿上とゆふ
こらづこのかみ

挽飯饗應

挽飯ハ已見をう今世のたふらう
こらづこのかみ

和光同塵

こらづこのかみ

招禍

こらづこのかみ

缺掖

帝王の御事ハ何ごとと監まことなり
なり監ハ堅固なりさる事なり
こらづこのかみ

王事靡盬

こらづこのかみ

加部

一言

か 加 加 架 嘉 迦 伽 可 河 何 荷 珂 柯 舸 舸 軻 訶 歌 甘 間

箇介 清音 賀 清濁 我 俄 蛾 峨 餓 鵝 雅 濁音

二言

開 かい

雅意 がい

海 うい

械 うい

解 かい

害 がい

戒 うい

楫 うい

棹 うい

擢 うい

蚋 うい

改 うい

皆 うい

咳 がい

介 うい

涯 がい

文章假字用格卷二 **か**

六 黄葉園藏

ナ ひあ 山

文章假字用格卷二(か)	匙	飼 <small>鳥獸をよ</small>	甲	膏	幸	高	講 <small>吳音こう</small>	教 <small>同上</small>	交 <small>吳音けう</small>
	かひ <small>食器</small>	かひ <small>うる</small>	かひ	かう	かう	かう	かう	かう	かう
	貝	甲斐 <small>國名</small>	粥	豪	上	好	降 <small>同上</small>	巧 <small>同上</small>	効 <small>同上</small>
	かひ	かひ	かゆ	かう	かう	かう	かう	かう	かう
蛭	峽 <small>山の間をり</small>	家事	合	神	格	肛 <small>同上</small>	江 <small>吳音かう</small>	技 <small>同上</small>	
かひ <small>虫</small>	かひ	かど	かひ	かう	かう	かう	かう	かう	
數	穎 <small>稻の穂をり</small>	買	閤	號	考	迎 <small>漢音けい</small>	項 <small>同上</small>	孝 <small>同上</small>	
かひ	かひ	かひ	かひ	かう	かう	かう	かう	かう	

黄葉園藏

う ち へん は

杏 <small>吳音こう</small>	向 <small>漢音かう</small>	剛	浩	香 <small>香具</small>	替 <small>俗に梶は字を用ふもの 謬る梶の樹抄</small>	皮	側
かう	かう	かう	かう	かう	かへ	かひ	かひ
耕	強 <small>同上</small>	康	皋	福	穀	革 <small>つくり革と云</small>	傍
かう	かう	かう	かう	かう	かう <small>木</small>	かひ	かひ
莖 <small>吳音かう</small>	更 <small>吳音かう</small>	糠	岡	毫	行 <small>金作り</small>	顔	川 <small>水</small>
かう	かう	かう	かう	かう	かう	かひ	かひ
肴 <small>同けう</small>	亨 <small>同上</small>	仰 <small>漢音かう</small>	綱	告	郷	楫 <small>舟具</small>	河 <small>衆流の海に注ぐと云</small>
かう	かう	かう	かう	かう	かう	かひ	かひ

か二言

六

へに りと を さ か つ よ と 此

文章假字用格卷二(か)	今瀬病人をとり 食のここと	傍	通	抱	乾	家隆	雞頭樹 <small>俗ユウキチトシ</small>	歸	樺
		かこへ	かよひ <small>カヨヒ</small>	かへ	かろく	かりう <small>人名</small>	かへて	かろり	かよひ <small>木</small>
	嘉例	片方	離支	嘉幸	燥	假居	翻	漂	復
	かまひ	かこへ	かこえ	かろう	かろく	かりわ	かへす <small>井をうごかす</small>	かへる	かへり
	餉 <small>乾飯なり</small>	歌道	殘廢篤	鯉	消渴	我折	加藤	解	回
	かれひ	かごう <small>詠歌の道なり</small>	かこえ	かつを	かこき	かをり	かとう <small>氏</small>	かへる <small>卵のうごかり</small>	かへり
	王餘魚	乞索兒	被	加階	薰	假廬	楓	返	
黄葉園藏	かまひ <small>魚</small>	かこわ	俗ユウサウ <small>不具の人をユ片羽 のこらなり</small>	かひい	かをる <small>香氣</small>	かりん <small>ユウキチトシ</small>	かへて	かへり	

い 七

合志	瓦	水苔	替	川邊	改悔	改補	三言	か二言 三言
肥後 郡名	かいら	かいか <small>川菜</small>	かいろ <small>カいろ</small>	かへ	かひげ	かひや <small>あつた補</small>		
為替	家法	黄草	河曲	罇	海部	皆無		
かへせ 金なり	かえふ	かいか <small>今よりやんといふ 赤州</small>	かへり <small>伊勢 郡名</small>	かいら <small>類</small>	かひぶ <small>魚介の總名をいふ</small>	かひむ		
川瀬	厠	河原	蝦蟇	換	咳氣	皆具		
川の浅瀬	かはや <small>今唾隠といふ</small>	かいら	かひづ	かひり	かひき	かひぐ <small>馬の粧ひ全きを 皆具といふ</small>		
川合	皮籠	甲良	蛙	代	開基			七
かひひ <small>越前郷名</small>	かひご	かいら <small>氏</small>	かひる <small>ウひる出</small>	かひり	かひき			

文章假字用格卷二 (か)	高家 くろこ <small>飛驒郷名</small>	嘉兆 くろしう	家風 くろしう	河内 くろしち <small>國名</small>	懸緒 くけを <small>組緒と同一</small>	蒲生 くまう	神主 くろしん <small>氏</small>	隔子 くろし	郷司 かろし <small>今の大庄屋のつね</small>
	嘉名 くろめい <small>よき名</small>	可愛 くろあい	圍 くろこむ <small>くろこむ</small>	冠 くろり	禪 くけを	庚 くろえ <small>近江の郡名なり又氏もあり</small>	柑子 かろし <small>密柑橘なり</small>	郷士 かろし	
	龜居 くろめい	葛西 くろさい <small>氏</small>	貯 くろし <small>つとむ</small>	甲賀 くろが <small>近江郡名</small>	家業 くけい <small>あり</small>	構 くまう	考妣 くろし	講師 くろし	
	家財 くろざい	茶室 くろし	甲田 くろた <small>氏</small>	笥 くけい	加慶 くけい	箇様 くろやう	格子 くろし		

黄葉園藏

足を尻の左右へ開きて
龜足の如く居るなり

高座 かうざ	高位 かうい <small>つゝの高位</small>	交趾 かうち <small>外國の名</small>	更衣 かうい	家老 からう <small>家臣の長なり</small>	加納 かぬ <small>氏</small>	鐺 かぬ <small>器</small>	葛 かづ <small>蔓草</small>	加増 かぞう <small>今ハ祿上のミソリ</small>	
強氣 かうき	河野 かうの <small>氏</small>	麴 かうち	蕪 かう	算麻 からん <small>草</small>	金生 かぬ <small>筑前郷名</small>	鼎 かぬ	潛 かづ <small>水中をくぐること</small>	數 かぞふ	か三言
孝子 かうし	香具 かうぐ	好惡 かうを <small>ナミヤウクム</small>	香爐 かうろ	管家 かぬ	叶 かぬ <small>うらひ</small>	金井 かぬ <small>氏</small>	上総 かづ <small>國名</small>	筭 かぞふ	
好士 かうし	高下 かうげ <small>高きと界きをいふ</small>	寄居虫 かうか <small>虫</small>	首 かうべ <small>あたまのこと</small>	漢字 かんと <small>唐土の文字</small>	唐輪 からん <small>小兒の髪を結やうん</small>	稱 かぬ	鐘鑄 かねい	鬘 かづら <small>花鬘のこと</small>	ハ

文章假字用格卷二 五月五日 か	改正 ういせい	改宗 ういしゅう	皆濟 ういざい	骸骨 がいこつ	視私屏 しひびん <small>同上同ト</small>	皆納 かいなつ	介添 かいぞん	戒壇 かいだん	挂萱 かいげん <small>上野 郷名</small>
	艾節 ういせつ	帳 ちやう	開山 かいざん	改易 かいえき	改元 かいげん <small>年号の改元なり</small>	海老 かいらう <small>虫</small>	介副 かいぶ	海道 かいどう	海蛤 かいがく <small>貝</small>
	浮石 うりいし	改葬 かいさう <small>垣代の意源氏一見えたり</small>	改葬 かいさう	涯分 がいはん	螺鞍 らいざん <small>サハツカ</small>	咳嗽 かいそく <small>病</small>	搔桶 かいどく	海羊 かいやう	海内 かいだい <small>四海のうちをいふこと</small>
黄葉園藏	川橋 かわはし	苴 しや <small>魚糞の下の糞と云</small>	改名 かひめい	海底 かいてい	開口 かいこう <small>音曲よりなり</small>	垣間見 かひまみ <small>ひまのまをいふこと</small>	海賊 かいぞく	海棠 かいどう	海内 かいだい <small>四海のうちをいふこと</small>

胛 かたね	典鑰 てんよく	介保 かいほう <small>介抱ともなり</small>	四言 しごん	家制 かせい	蠶 さ <small>虫あり</small>	肘 てう <small>うでのこと</small>	我執 がしやく	紙繪 しえい <small>紙よりききう繪なり</small>
肩のむねへ俗よりなり骨と云ふ	節會の時此役あり諸司の下よりある卑賤のもの	搔掃 さうそう <small>くさくさく</small>		我精 がせい	鴨居 かひか	肱 ひか	橈 たう <small>俗よりんたきと云</small>	拍 ぱく <small>木</small>
開講 かいかう	皆同 かいどう	海保 かいほう <small>氏</small>		嘉瑞 かすい	鴨柄 かひが	匙 し	香推 かうい	榭 せ <small>木</small>
改號 かいがう <small>名をあらたむこと</small>	戒律 かいりつ	戒法 かいぼう			髮 かみ <small>入レガもの事</small>	卵 らん <small>鳥のたまご</small>	椽 せん <small>木</small>	賀集 がしやく <small>淡路 郷名</small>

か三言 四言

九

つれ たよかり ちとへ

枯枝	相語	通路	家長	首途	河筋	川音	河傍	蝙蝠
くせき	さうご	つうじ	くしやう	しゅと	かすぢ	かわね	かわらひ	ふわり <small>虫</small>
甲冑	荷擔人	傍	嘉定	楫師	顔	鞞帶	瓦屋	骨蓬
まへう <small>まへう</small>	かたかみ	かたわら	くわじやう <small>六月十六日の儀式</small>	かじし	かほ	かひび	かわらや	くわね <small>水艸</small>
堅魚木	片戀	脇	狩襖	挾抄者	貌鳥	樺燒	土器	替目
かたぎき	かたこひ	わき	かりあそ <small>衣</small>	かたしやう <small>舟人なり</small>	かほ <small>鳥</small>	かばき	かわらけ	かひめ
宮殿の屋根	餉	癖疾	拘	蚊帳	却	川岸	烏毛蟲	咎
みやどのやね	くわい	くせぢ	かむ	かむぢやう	かへりて	かわぎし	くまむ <small>虫</small>	かたけ <small>常のふもを付</small>

か四言

十

ん らか

寒風	感應	諫奏	感慨	廣東	連枷	必	癩病	謁仰
かんふう	かんごう	かんそう	かんがい	かんとう <small>唐土の地名</small>	けんか <small>農具</small>	かならば	かづい	くがう
五調	漢音	閑窗	勘考	神主	甘露寺	悲	乞食	恰好
かんと	かんおん	かんそう	かんこう	かんぬ	かんろう <small>氏</small>	かなしみ	くせき	くがう
岩壘	艱勞	艱勞	考	感淚	看坊	唐樣	葛城	合當
かんでい	かんらう <small>難苦勞</small>	かんらう	かんこう	かんだい	かんぼう	からやう	くわじやう <small>大和</small>	くわじやう <small>相應の義</small>
蕪菜	干戈	堪能	勘當	神事	干瓢	唐織	渴命	合體
かんだい	かんとこ	かんのう <small>物の上手</small>	かんだう	かんとこ	かんべう <small>菜</small>	からおり	かづい	かづい

文章假字用格卷二 (か)

黄葉園藏

甘草	かんさう <small>草</small>	感悦	かんえつ	肝要	かんよう	肝心	かんしん
標	かん <small>器具</small>	交友	かうゆう	高樓	かうろう <small>高き階あり</small>	芳	かうほう
馨	かうげい <small>香のよき</small>	川骨	かうわね <small>骨</small>	強兵	かうへい	高直	かうちき <small>直段の高き</small>
強力	かうりき	柑類	かうるい <small>密柑の類</small>	幸若	かうじやく <small>氏</small>	強盜	かうたう
孝行	かうかう	鈎匙	かうがし <small>京師一條行願寺をとり</small>	孝道	かうたう	號令	かうかう <small>云ひけり</small>
草堂	かうたう	上野	かうじゆ <small>國名</small>	香臺	かうたい <small>器</small>	高麗	かうらい <small>朝鮮のこと</small>
高僧	かうそう <small>尊と僧とあり</small>	耕農	かうのう	上月	かうつき <small>氏</small>	膏藥	かうやく
香圖	かうのづ <small>香のしるし</small>	耕業	かうげい	郊原	かうげん <small>邑あり</small>	豪傑	かうけつ
旬言	かうげん						

好物	かうぶつ	蒙	かうもう	被	かうり	冠	かうかん <small>俗いんわりと云</small>
告文	かうぶん <small>神文といふ</small>	交易	かうぎやく	孝悌	かうてい	香典	かうてん <small>典のうり</small>
視告朔	かうしやく <small>視の字をよまふが讀法なり</small>	幸甚	かうしん	香西	かうさい <small>氏</small>	上坂	かうさか <small>氏</small>
強勇	かうゆう	幸甚	かうしん	江州	かうかう <small>國名</small>	庚申	かうしん
香薷	かうじゆ <small>草</small>	幸便	かうびん <small>よたにあり</small>	拷問	かうもん	蝙蝠	かうひつ
強勢	かうせい	講説	かうせつ	行成	かうせい	香細	かうさい <small>世尊寺家能書世一権蹟といふ</small>
香煎	かうせん <small>食</small>	陰比	かうひ	學校	かうがく <small>万葉に見えり</small>	學寮	かうりやく <small>と同一</small>
學頭	かうとう	嘉會	かうかい	隔日	かうくわつ <small>一日置き</small>	學寮	かうりやく
結果	かうけい <small>菓子なり</small>	學才	かうさい			鮓	かうまづ <small>小魚</small>

文章假字用格卷二 (か)

黄葉園藏

陽燄	うげらう	懸香	うけり	蜉蝣	うげらう	欠落	うけおち
亡命	うけおち	掛帯	うけおび	蜻蛉	うぎらう	甲乙	うけおつ
夾纈	うけら	笠居	うさき	元興寺	うぎらう	書添	うきそ
風折	うごをり	攪餅	うごをり	柏原	うげら	膳夫	うけで
佳境	うごをり	鬢	うみなら	柏木	ういぎ	丹	うげ
霹靂	うごおつ	膳野	ういハの	舩	うひろく	貝原	ういげら
貝桶	うひをけ	傳	ういづ	無甲斐	ういひ		

か四言

十二

冬瓜	うもりの	横首杖	うせづゑ	鹿杖	うせづゑ	鐘木杖	うけ
春日部	うさぐ	鉢	うんがひ	鮫	うんがひ	鏝	うんがひ
戒重	ういぢゆう	海中	ういぢゆう	開帳	ういぢゆう		
海老尾	ういらうび	改宗	ういぢゆう	戒行	ういぢゆう		
戒名	ういぢゆう	海上	ういぢゆう	女青	ういぢゆう		
介錯	ういぢゆう	瓦葺	ういぢゆう				
草莢	ういぢゆう						

五言

文章假字用格卷二 ①

黄葉園藏

後見の人又ハ世話ナリト云々
 云今太刀取をりハハハハ
 瓦ト葺ガ家をり古ハ神宮
 の忌詞ハハハハハハハハハハ

たよ かをうち と へ 不

駕輿丁 <small>輿くくめをり</small>	拘帶	故	看督長	不肯	頰 <small>洗面せり</small>	裘	川向 <small>夏神樂川の上へ神を 立ち棚をくまてす</small>
傍目 <small>そばめと同ト</small>	連坐 <small>ちんざ</small>	薰風 <small>南風なり</small>	和唱 <small>返哥のこと</small>	顧	蝶 <small>虫</small>	川柳	河伯 <small>神</small>
参差 <small>物のちがひをいふ</small>	鞅掌	抱置	徒涉	勾引	擲倒 <small>雑藝</small>	水揚	河社

か 四言 五言

十三

う むらな ね つ

方違 <small>方忌を避る</small>	獨念	蟻蠓 <small>小虫の乱る</small>	合掌 <small>手をあひあはせ</small>	桔槔 <small>くわう 綱の井</small>	乾姜 <small>薬</small>	巖嶂	看病	定考 <small>うらちやう</small>
蝸牛 <small>虫</small>	片庇	纏頭	鐘聲	草麻 <small>草</small>	感入	强盛	香爐峰 <small>唐土地名</small>	文章假字用格卷二 ①
片田舎	鯨節 <small>衣の綿むぎの賜り</small>	鯨音	勘定	閑寂 <small>戰場を手柄のきり賜ふ</small>	感状	髮鋏 <small>器</small>	定考と書てくさまうらうちやうと唱へ来るを故實といふ 六位已上の加階よあることと今見えり	黄葉園藏

みゆき さてこ くの

書傳	飾繩	鵝口瘡	格外	柑子草	高聲	高名	剛者	高聽
くさつてふ	くごりかひ	かこうさう <small>病</small>	くくごさひ <small>方外といふ同ト</small>	かうたうら	かうたさう	かうみやう	かうのりの <small>アミ人</small>	かうちちう <small>台聽も同ト</small>
龜甲	笠標	雜加	學匠	夏禹王	講釋	孝順	高官	香卓
くめのふ	くささし <small>武具</small>	くてくりふ	がくちやう <small>學問の師匠</small>	かううごう <small>人名</small>	かうたさく	かうたごん <small>孝行弟順をいふ</small>	かうごん	かうつてふ <small>器</small>
上總	笠符	飾馬	學生	神樂岡	庚申會	好色	膏肓	頭殿
くさつてふ <small>國名</small>	くささし <small>上同ト</small>	くごりうま	がくちやう <small>今書生といふ學問をいふ</small>	くごらをう	かうたごん <small>庚申待同ト</small>	かうたさく	かうごん <small>灸穴の名</small>	かうのとの

そい せい ひ 志

菊	河原院	賣子木	戒定慧	數多	貝合	香推瀉	十月
くさく <small>さくとの和名あり</small>	かうらのわん	かうぢさのき <small>木</small>	くいぢぢうえ <small>佛語</small>	くびおや	くひあひせ	かうちひがさ <small>筑前柏屋郡の地名</small>	くさかづき
賽	更々	戒壇堂	掃部寮	貝覆	髻	貝履	鈕飯
かうりまをう	かうらうぐ <small>京師六條坊門の南 万里の小路あり</small>	くいだんどう	うりんさう <small>大内あり</small>	くひおわひ	くこのおち	くひおわひ	くさきがて <small>雑炊なり</small>
反忠	渡川	吳茱萸	主計寮	主計寮	主計寮	主計寮	主計寮
くさくちやう	かうせき	かうせうとく <small>木</small>	くさつてふ <small>まごい貝合せとて 女兒の戯まなり</small>	くさつてふ <small>上同ト</small>	くさつてふ	くさつてふ	くさつてふ

文章假字用格卷二 か

黄葉園藏

苦笑	くさうか	草	紙屏風	しびんぶ	柏流	くはく
龜井水	かめいのみづ	攝津の四天王寺よりあり又玉出の水ともいふ	神樂岡	かみらのおろ	上旬	かみらのおろ
降真香	かみらのかぐ	藥	庚申堂	かみらのかぐ	柑子栗毛	かみらのかぐ
咸陽宮	かんやうきう	秦の始皇の都の名	冠山	かんやうきう	庚申待	かんやうきう
韓紅	かんこう	寺僧の什物をいふあり引こはこもも用ふ	射干	かんやうきう	交割物	かんやうきう
狩装束	かりさうぞく	衣	桂壯子	かんやうきう	雁來紅	かんやうきう
忝	かたじけなく	七月八日ごろの月をいふ	半月	かんやうきう	確嘴	かんやうきう
狩装束	かりさうぞく	七月八日ごろの月をいふ	半月	かんやうきう	辱	かんやうきう

か 五言 六言

十五

柏夾	くはく	冠の体なり	貝杓子	かいしやくし	刷	くはく
衛矛	ゑぼう	木	迦陵嚩伽	かいらんが	鳥	ゑぼう
狩衣直衣	かりいぢい	衣	偏腹痛	へんぷう	鳥	かりいぢい
葛城神	かつらぎのかみ	一言主の神	家内安全	かいないぜん	鳥	かつらぎのかみ
函谷関	くわんこくかん	唐の関所の名	格天井	かくてん	鳥	くわんこくかん
蜻蛉小野	せうりやうのの	大和吉野郡よりあり	合力米	がうりくまい	鳥	せうりやうのの
風折烏帽子	かざりえがし	鳥	髮際	かみぎは	鳥	かざりえがし

八言

文章假字用格卷二 ①

黄葉園藏

街談巷説

往來の人の風聞の事あり
ういぶんこうせつ

借老同穴

契りのよきことなり
ういしうどうけつ

饗饋

和名抄一平燕餃と注せり
うかがさこのひ

千珠満珠

うんぢゆまんぢゆ

旋頭歌

赤人家集躬恒集勿とよみより
うらむをめぐらひ

亢龍之悔

物ごと盈てり久しうらむことなり
うらむことなり

娥皇女英

堯の二女の名
かぐつらうぢゆさの

鎌足大臣

うまごうだいじん 人名

合番夕

婚姻の夕をい合番ハ酒盃の名
かふばんのゆふ

橿原都

神武天皇の宮地なり
うゝららのみやこ

九言

迦陵嚩伽鳥

經説一見の唐一妙色鳥と翻せり
らうらうびんがてう

十言

鳧脚鶴脛

うものあしづゝのむね

莊子一出入り生きたるをうらむことありなる喩なり

十一言

十二言

十四言

臨渴掘井

うらみのどこそおをり

俗一軍を見て矢をとらむと
りたつこと同ト意なり

干將莫耶劍

かんぢやうもやえい

干將莫耶ハ唐土の鍛冶の名

入郷従郷

かうりりりていかうりりり

與部

一言

與豫餘用容欲譽庸遙

二言

夜

よハ

攀

よらう

用

よう

癰

腫物の名 病

宵

よひ

初夜

よひ

すく夜をよ

萬

よろろ

甲

よるひ

鎧

よろひ

銚

よろひ

齡

年齢 よろひ

結婚

よひ

夜這

よひ

餘流

よろろ

三言

りえろ ひらちそ

寄子

よりと

餘類

よるね

節折

よまをり

夜盜

公事なり委しん 式江次第ホは出さる 盗人

弱

よこ

横川

よこが

輿臺

よこが

夜盜

よこが

餘黨

よごう

準

よご

四十

よごぢ

艤

舟をよごす

儀

よそひ

依

よりて

因

よりて

仍

よりて

夜誥

よごめ

米津

よねづ

餘荷

よかひ

用意

ようい

容易

よゆうい

用土

ようど

庸愚

ようぐ

容儀

ようぎ

用事

ようじ

餘慶

よけい

餘商

よえい

餘計

よけい

餘風

よふう

横地

よこぢ

餘命

よめい

餘習

よまふ

餘殃

よまわ

周易は出積不善の家

餘命

よめい

餘習

よまふ

まめあえこよ け りおね つ そ たかこをるそ

文章假字用格卷二

黄葉園藏

二言

三言

十七

四言

餘情	よせい
夜居	よよゑ <small>鷹より詞あり</small>
産	よとひ
啖	よがら

善哉	よふか
逶迤	よろがひ
綫	よりのと
桿棒	よりのやう

夜通	よとやま
縷	よりのと
依藤	よりのぢ <small>氏</small>
寄合	よりのあひ <small>よりのあひ</small>

寄添	よりのそふ
寄親	よりのおや
贈	よりのあそ <small>馬の四蹄より白くす</small>
容貌	よりのやう

粧	よそがひ <small>よそがひ</small>
飾整	よそがひ
庸才	よりのさい
用心	よりのしん

用人	よりのえん
容體	よりのたい
庸才	よりのさい
用心	よりのしん

用水	よりのすい <small>佛説より欲界色界無色界を三界と云</small>
抑留	よりのりゅう <small>おとどめ</small>
餘光	よりのこう
欲界	よりのくがい

翌日	よりのあつ
夜廻	よりのまわり
行夜人	よりのまわり

よ 三言 四言

五言

栞	よとづち
臥杵	よとづち <small>衣</small>
横大路	よとぢ <small>山城地名</small>
横笛	よとぢ <small>え</small>

篋	よとぢ <small>え</small>
餘興	よとぢ <small>え</small>
婚	よりのり
吉岡	よりのり <small>氏</small>

芳澤	よとぢ <small>氏</small>
善澄	よとぢ <small>氏</small>
蓬生	よとぢ <small>氏</small>

甲蟲	よとぢ <small>甲蟲三百六十種を長と云介蟲のことなり</small>
白芷	よとぢ <small>草</small>

流星	よとぢ <small>え</small>
鯁	よとぢ <small>え</small>
浴佛會	よとぢ <small>え</small>

夜闌	よとぢ <small>え</small>
蕙苾仁	よとぢ <small>え</small>
浴佛會	よとぢ <small>え</small>

欲情	よとぢ <small>え</small>
餘間出居	よとぢ <small>え</small>
横	よとぢ <small>え</small>

陌	よとぢ <small>え</small>
四疊半	よとぢ <small>え</small>
横	よとぢ <small>え</small>

文章假字用格卷二

黄葉園藏

横繩手へ路のこと

よとぢ え

よとぢ え

東山殿書院より四疊半あり
同仁齋より号後世此より

甲蟲三百六十種を長と云介蟲のことなり

竹をうて魚を貫く
俗より目刺のこと

山城地名

氏

草

家造より

み

蘇 よこごころ

蘇生くもり死して又生くころをりて

蘇息 よこごころ

冥反 よこごころ

上と同ト

上と同ト

六言

四五百森 よかののり

著甲始 よろひきぞめ

解手刀 よろひとや志馬手ざしともし小刀

函人 よろひつり

夜御寝 よりのおと

早世 早く死ぬるを云

世風俗 よのわらゑ

吉井嶽 よゑのけ

肥前高来郡土人筑紫富士と云

七言

丁渡 よぼりのよこ

餘五將軍 よごごのりぐん

葭原雀 よゑをらまめ

倚懸目結 よせうけめゆひ

せ 志 不

志 の を る

ろ い

み

① 四言 五言 六言 七言

十九

八言

節折藏人 よをりのくらうど

節折ハ公事ニ藏人の官名ニ

九言

世變風移 よへんかふううつ

世のありさま昔と今同トかろ風俗もよおうつ

ひえい ぶお 9

文章假字用格卷二 (九)

堂	陶	嶋	到	盜	鏞	臺	荅	平魚
だう	たう	たう	たう	たう	たう	たう	たう	たひ魚
道	當	黨	倒	塘	打	萄	納	
だう	たう	たう	たう	たう	たう	たう	たう	吳音 ㄅㄨˋ
導	湯	稻	禱	棠	棹	田井	絶	
だう	たう	たう	たう	たう	たう	たか	たえ	田舎 ㄊㄨˋ
桃	唐	刀	討	糖	幢	塔	鯛	
たう	たう	たう	たう	たう	たう	たう	たひ魚	

黄葉園藏

つゝ

い

妙	胎	退	體	濁音	多部
たへ	たい	たい	たい	二言	一言
堪	對	臺	大		
たへ	たい	たい	たい		
拷	代	銃架	題		
たへ	たい	鉄炮の たい	たい		
鶴	泰	太	滯		
たづ	たい	たい	たい		

た 濁音
 多 哆 丹 他 陀 稻 當 黨 儂 囊
 清音
 太 陀 駄
 清音
 二音 濁
 娜

二言

二十

かまをもちとにえ

儀	但馬	假令	他方	大事	大輔	内裏	大意	三言
たごら	たぢま <small>國名</small>	たとひ	たもう	だいふ	たひ <small>官</small>	だいり	たいい	
撓	丹比	喻	戲氣	舵	醍醐	大豆	提婆	①二言
たご <small>たごむ</small>	たぢひ <small>氏</small>	たとふ	たをけ	たい <small>船具</small>	だい <small>山城</small>	だいづ <small>穀</small>	だいご	三言
給	他流	譬	淫	對	對座	速夜	對治	
たまふ	たごら <small>木竹の枝のあひ</small>	たとふ	たをけ	たい	たいざ	たいや <small>尾日の前夜</small>	たいぢ	
玉江	手折	起居	丹波	臺子	大儀	當麻	退治	廿一
たまえ <small>地名</small>	たをり	たぢお	たよ <small>國名</small>	たい	たいざ	たい <small>大和</small>	たいぢ	

まの うらつ

匹	多能	導師	專	桃李	道路	鑪	忒	田川
たごひ	たのう	だうふ	たうめ	たう <small>木</small>	だうろ	たづ <small>器</small>	たごふ	たが <small>氏</small>
賜	比	道士	專女	踏歌	唐土	多羅尾	違	高雄
たまふ	たごひ	だうふ <small>仙術</small>	たうめ	たう <small>正月公事</small>	たうど	たら <small>氏</small>	たごふ	たご <small>地名</small>
給	類	唐紙	當	道具	湯治	太郎	尋	高井
たまふ	たごひ	たうふ	たう <small>狐の称なり伊勢の書 は專女三狐神あり</small>	たうぐ	たうぢ	たらう	たごぬ	たご <small>氏</small>
玉江	儕	當寺	當時	當歸	道理	盥	韁	差
たまえ <small>地名</small>	たごひ	たうと	たうふ	たうき	だうと	たらひ <small>器</small>	たご <small>馬具</small>	たごふ

文章假字用格卷二 ①

黄葉園藏

大綱	たいこう	體用	たいよう	大内	たいない
大老	たいらう	對屋	たいのや	胎内	たいない
大恩	たいおん	退屈	たいくつ	大音	たいおん
大陽	たいやう <small>日</small>	大望	たいぼう	對揚	たいやう
炬火	たいまつ	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大黒	たいくろ <small>神名</small>	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大體	たいてい	大望	たいぼう	對揚	たいやう
太守	たいしゆ	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大物	たいぶつ <small>大材と大物とあり</small>	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大數	たいすう	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大體	たいてい	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大壯	たいさう	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大悅	たいえつ	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大黒	たいくろ <small>神名</small>	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大體	たいてい	大望	たいぼう	對揚	たいやう
太守	たいしゆ	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大物	たいぶつ <small>大材と大物とあり</small>	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大數	たいすう	大望	たいぼう	對揚	たいやう
風流士	たうりゅうし	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大人	たいじん	大望	たいぼう	對揚	たいやう
代參	だいさん	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大要	たいよう	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大慶	たいけい	大望	たいぼう	對揚	たいやう
璫瑁	たうまい	大望	たいぼう	對揚	たいやう
對揚	たいやう	大望	たいぼう	對揚	たいやう
松明	たいまつ	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大功	たいこう	大望	たいぼう	對揚	たいやう
大抵	たいてい	大望	たいぼう	對揚	たいやう
對面	たいめん	大望	たいぼう	對揚	たいやう
嫖客	びやくかく <small>色町の白ん</small>	大望	たいぼう	對揚	たいやう
狂夫	たうふう	大望	たいぼう	對揚	たいやう

文章假字用格卷二 (九)

黄葉園藏

大剛	たいかう	題号	たいごう	太閤	たいかう
胎毒	たいどく	滯留	たいりゅう	大黃	たいかう <small>藥</small>
大陰	たいいん <small>月</small>	大法	たいほう	顔敗	たいぼう
多少	たせう	四言		太平	たいへい
高家	たかき <small>信濃 郷名</small>	田代	たしろ <small>肥前基肄郡の地名</small>	多勢	たせう
絶	たえふ	間斷	たえま	不絶	たえふ
塔婆	たつた	倒	たふ	斃	たふ
多藝	たげい	竹井	たけい <small>武藏 郷名</small>	高生	たけい <small>武藏 郷名</small>
答話	たふこ	峠	たふげ	太宰	たざい <small>氏</small>

(九)

廿二

戲	稅	婀娜	篁	互	漂	脱肛	手端	探幽
たごひれ たごひん	たごから	たごやう	たごむら たごむら	たごひよ	たごひ たごひ たごひ	たごう たごう	たごすゑ	たごう たごう
妄語	大稅を倉上備置て春耕の時に出して かへて耕田の力とすいふよ田力とすいふ	柔	耕	湛	塔頭	携	生親男	檀方
たごこと		たごやう	たごひ たごひ	たごう たごう	たごう たごう	たごう たごう	たごちを	たごう
妙		婦人	鷹飼	稱	田令	立水	垂乳女	檀越
たごう		たごやめ	たごひ	たごう	たごひ	たごう	たごちめ	たごう
酩酊	他領	高潮	戰	女貞	多羅葉	談合		
たごう 酒	たごやう	たごあか	たごう	たごのき 木	たごあき 木	たごあひ		

た四言

廿三

淡海	斷罪	鴿	當流	盜汗	唐僧	道風	當色	當日
たんかい	たんざい 刑人	たごむと	たごりゅう	たごえん	たごそう	たごふう	たごしき	たごあつ
探題	短命	到頭	桃林	道號	盜賊	道服	唐人	唐人
たんだい	たんめい	たごとう	たごりん	たごごう	たごぞく	たごう	たごじん	たごじん
短刀	丹誠	黨類	當用	唐蠟	當世	投網	唐墨	唐墨
たんだう	たんせい	たごるい	たごよう	たごろう	たごせい	たごあみ	たごすみ	たごすみ
短才	唐音	道德	當代	當惑	當國	犢鼻	當世	當世
たんさい	たごおん	たごとく	たごだい	たごごく	たごこく	たごびし	たごせい	たごせい

文章假字用格卷二

黄葉園藏

他宗	猶豫不定	倒	蘭	武石	寬緒	濁醪	樂
なまぢう	たごうふ	たう	たけい	たけい <small>氏</small>	たまのを <small>上と同じ</small>	たぐらう	たのあひ
	溜息	帶刀	酣	武市	玉井	手扶	比
	ためい	たてさ	たけい	たけい <small>氏</small>	たまのい	たぐらう <small>小壺のあまをり</small>	たぐらう
	猶豫	他行	答拜	竹原	玉水	給	副
	ためい	たごう	たごい	たけら	たまづ	たまづ <small>州</small>	たごう
	他生	他境	貴	竹枝	寬	玉緒	貯
	たごう	たごう	たごい	たけつ	たまのい <small>命のこゝろはう</small>	たまがわ	たくらう

四言

廿四

ま く の

文章假字用格卷二	太郎月	高雄山	譬喻哥	大將	大饗	大僧都	大道寺
正月の異名	たろうづき	たかたけ <small>山城葛野郡に在</small>	たごう	たごう	たごう	たごう <small>宣</small>	たごう <small>氏</small>
誕生	疊紙	發向	輒	帝釋	大願	台聽	大腸
たんごう	たごう	たごう	たごう	たごう	たごう	たごう	たごう <small>六腑の一</small>
短尺	店卸	鷹匠	堪忍	大乘	大名	代官	大膽
たんごう	たごう	たごう	たごう	たごう <small>佛法大乘小乘の別あり</small>	たごう	たごう	たごう

五言

い

黄葉園藏

う

よけ まく

尺ハ尺素の義なり 短冊ともうけり	彈正 <small>官名</small> だんぢやう	桃印符 <small>五月五日</small> たういんふ
當住 <small>たうぢやう</small>	道場 <small>たうぢやう</small>	切利天 <small>たうそてん</small>
蕃椒 <small>たうがらゑ</small>	白芥 <small>たうがらゑ</small>	道祖神 <small>たうそぢん</small>
世よりれを幸の神と云 道陸神ともりり	堂上 <small>たうぢやう</small>	<small>播紳家を稱してとり丹殿 ゆゑにれいの人とさうりり</small>
託生 <small>たくまぢやう</small>	珠纒 <small>たまづら</small>	<small>古ハ君臣ともよ玉 貫さうけありり</small>
玉祖 <small>たまのおや 河内 御名</small>	篋 <small>たけのうい</small>	殪死 <small>たつれぢやう</small>
塔澤 <small>たつのさへ</small>	<small>相模足柄下郡温泉 あり七湯の一</small>	多武峯 <small>たつのさへ</small>
<small>大和十市郡あり又 談嶺龍嶽ともり</small>		

六言

五言 六言

廿五

う かちと

い

太一星 <small>たいいつせい 北極の大星</small>	大般若 <small>だいおんぎや</small>	大陽草 <small>たいやうさう 黄精の一名</small>
内教坊 <small>だいけうぼう</small>	太公望 <small>たいこうぼう 人名</small>	大極殿 <small>だいごくてん 禁中の殿名</small>
胎藏界 <small>たいざうがい 大日 密宗よりいところ 地あり陰あり</small>		大慈大悲 <small>だいじだいひ</small>
大嘗會 <small>だいじやうゑ 天子即位の歳 行ふ公事あり</small>	大成殿 <small>たいせいてん</small>	太常旗 <small>たいじやうき 天子の旗 日月と畫く</small>
題目講 <small>だいめくかう 日蓮宗</small>	徘徊 <small>たらいちやう</small>	参差 <small>さんさし</small>
狂心 <small>たうじん</small>	稻麻竹葦 <small>たうまぢやくし 衆多のひかり</small>	桃花坊 <small>たうかぼう 京都一條の異名</small>
寶位 <small>たうゐ</small>	道成寺 <small>たうぢやうじ 紀伊日高郡あり</small>	
陶淵明 <small>たうゑんめい 人名</small>		

七言

文章假字用格卷二 (九)

黄葉園藏

①六言 七言 八言

廿六

大燈國師

だいとうこくし 人名

大僧正

だいそうじ 僧官

大音聲

だいなうせう

大明日

だいめいじつ 曆の下段よりあり大吉日なり

大明竹

だいめいしやく

高千穂嶺

業平竹ともいふ幹ハ雄竹
とて葉ハ雄竹なり

大織冠

だいおほむすかん 鎌足公をせよ大織冠といふ
人名

高千穂嶺

たかちほのね 日向宮崎郡あり

箏刀

そうとう 元服の理髪よりつるもの

棚無小舟

たなむなこぶね

八言

大恩教主

だいにんけうしゆ 釈尊をいふ

大政官

だいてんけうしん

多田満仲

たのまんちゆう 人名

丹頂鶴

たんていかり 鳥

端坐合掌

たんざごうしやう

鎮魂祭

ちんこんさい 十月中の寅の日より行人公事なり

打成一片

たてあつぱん 餘念のたの義

九言

大海一滴

だいのういつてき 譬

當麻練供養

たいまのねりくやう

大倉一粒

だいのうのちゅう 譬

籜

箏の皮

たむかのういふ

反掌

たかざうをいふ

丹花唇

たんさかのくちびり

數他珍寶

たのしゆらをいふ 佛家にては譬論なり

失魂

たまたまをいふ

十言

十二言

短兵急接

たんへいさうせつ

螳螂遮車

たうらうしやをいふ

其任はたゞざるの
喻なり

文章假字用格卷二 ①

廿七 黄葉園藏

禮部

一言

禮例戾黎連聯憐

二言

禮

まゝ

例

まゝ

冷

まゝ

令

まゝ

零

まゝ

厲

まゝ

靈

まゝ

黎

まゝ

醴

まゝ

麗

まゝ

酈

まゝ

鈴

まゝ

寮

まゝ

寮

寮

料

まゝ

僚

まゝ

燎

まゝ

療

まゝ

療

まゝ

僚

まゝ

官舎へ大學寮大炊寮
びん禁中ニあり

佛具

レ

了

まゝ

聊

まゝ

蓼

まゝ

獵

まゝ

三言

伶利

まゝ

荔枝

まゝ

櫛子

まゝ

療治

まゝ

料理

まゝ

聊爾

卒尔とつと同ト

聊示

まゝ

料紙

まゝ

獵師

まゝ

四言

靈牌

まゝ

靈寶

まゝ

靈廟

まゝ

禮樂

まゝ

禮用

まゝ

零落

まゝ

羚羊

まゝ

黎民

まゝ

文章假字用格卷二

黄葉園藏

氏百姓のこゝ

靈神 <small>天験あり神</small>	伶人	伶倫とりん人始めて笛を造らうて樂人を伶人とり	冷泉
靈瑞 <small>甘露降るの瑞</small>	烈女	連陰 <small>毎日天氣の曇をいふ</small>	蓮房 <small>蓮の實</small>
簾臺	連翹	連日 <small>毎日とりん同ト</small>	遼東
<small>唐土より北の胡をとり契丹のこころなり</small>	了戒	花園の朝京師の刀鍛冶名を光重とり	料足 <small>錢のこころ</small>
療養 <small>療治養生</small>	了簡	料簡	獠者 <small>獵人</small>
寮舍 <small>百丈清規に見えり</small>	歷代	歷葉 <small>上り同ト葉の世と同意</small>	
五言			
例幣使		伊勢官幣使なり中古断絶後光明院との又絶	靈場 <small>尊き神佛のまゝ地を云</small>
例證			禮狀

簾中 <small>公卿の妻をさして云</small>	蓮臺野 <small>山城愛宕郡あり</small>	連名
簾外	戀情	練鵲 <small>鳥</small>
料理人 <small>又ハ庖丁子といふ</small>		
六言		
羚羊角	麗景殿	禁中綾綺殿の北あり
靈照女 <small>人名</small>	連理枝 <small>二樹の枝つらなまらん</small>	練磨功
連錢草 <small>艸</small>		
七言		
零陵香		
文章假字用格卷二 <small>三</small>	寮御馬 <small>天子の御馬を左右馬寮に養ふ</small>	黄葉園藏

了簡違

しやうけんちがひ

伶人舞

しやうじんのおどり
伶人とは樂人のこと

八言

遼東豕

しやうとうのいのしし

世にあまのりくまのりたるを我の
珍しきやうと思ふことの喻なり

曾部

一言

そつ 曾層僧贈蕪所泝祚且祖則宗諸罇

清音 鋤叙

增憎俗賤茹序存

濁音

二言

素意

そい

側

そバ

岨

そバ
山の側をとり

赭

そバ
あつこをいふ

奏

そう

總

そう

宗

そう

曾

そう

送

そう

叢

そう

叟

そう

宋

そう

走

そう

崇

そう

僧

そう
出家のこと

贈

そう

うんそい

文章假字用格卷二

三十

黄葉園藏

くの うむ かに かりとへえろ ム

曾子 <small>孔子十哲の一</small>	總嫁	具	背向	卒都婆	揃	添	増
そせい	そしう	そめん	そしう	そとひ	そしう	そしひ	ぞしう
園生	僧都	尊意	尊流 <small>万葉集よみでたやううしうむきりこも</small>	妾	副	窓	窓 <small>漢音さう</small>
そのふ	そのう	そんい	そのう	そびめ	そひ	そしう	そしう
苑園	増補	祖堂	蘇甲 <small>讚岐郷名</small>	副	雙	雙 <small>漢音さう</small>	雙 <small>漢音さう</small>
そのふ	ぞうか	そだう	そしう	そしう	そしう	そしう	そしう
即位	湊理	備	十河	祖廟	祖廟	祖廟	祖廟
そくお	そしう	そめん	そがう	そしう	そしう	そしう	そしう

二言 三言

三十

むらこま へえ せひあき こ

聳	殂薨	卽事	歌	虚言	損亡	尊容
そびえ	そしう	そくご	そがう	そらご	そんご	そんご
鹿菜	卽時	時	驂	尊拜	尊號	尊答
そさい	そくご	そくご	そしう	そんご	そんご	そんご
蘓生	粘飯	傍杖	夫故	尊方	孫康	尊體
そせい	そくひ	そびつ	そしゆ	そんご	そんご	そんご
疎遠	底意	諷歌	損	尊報	尊骸	損料
そあん	そこい	そしう	そこあ	そんご	そんご	そんご

四言

文章假字用格卷二 七

黄葉園藏

素懷	奏	素麵	崇敬	僧俗	滄海	僧房	存命	尊崇
そまゐ	そうす	そうめん	そうけい	そうぞく	そううみ	そうぼう	ぞんめい	そんそう
疎濶	續飯	總社	増減	叢林	贈答	宗廟	尊者	損益
とがらう	そくはん	そうしや <small>諸國より</small>	ぞうげん	そうりん	ぞうたふ	そうべう	そんそ	そんえき
即答	息女	奏聞	増益	總體	葱嶺	尊圓	尊像	尊像
そくたふ	そくぢよ	そうもん <small>天子へ申上り</small>	ぞうえき	そうたい	そうざい	そんごん <small>人名</small>	そんざう	そんざう
束帶	族類	總門	聰明	僧堂	僧堂	雙方	尊命	尊命
そくたい	ぞくるい	そうもん	そうめい	そうどう	そうどう	そうほう	そんめい	そんめい

山の名天竺雪山の北
無熱地の南より

寺院の一名僧の
張りしつらり

諸國より

天子へ申上り

字音の平色の外
上去入とらり

ひと ひと こま

五言

存外	副車	害	拙河	俗人	俗體
ぞんぐま	そくぐるま <small>わらわりの車あり</small>	そごあし	そまがは <small>氏</small>	ぞくじん	ぞくたい
尊敬	觚稜	祖師堂	添上	即日	族黨
そんきやう	そくろく	そしどう	そうじやう	そくじつ	ぞくどう
存生	外郭	訴狀	若干	仄聲	息災
ぞんじやう	そくかく	そじやう	そごく	そくせい	そくさい
		横陳	様	即妙	即妙
		そひやう <small>その癖より</small>	そざう	そくめう	そくめう
		訴訟	副臥		
		そじゆん	そひがし		

文章假字用格卷

七

黄葉園藏

増長	ぞうちやう	總領	そうりやう	曾祖母	そうそふが
總名	そうみやう	宗匠	そうみやう	俗名	ぞくみやう
僧正	そうみやう	即興	そくきやう	無底意	そくいあく
俗姓	ぞくみやう	添上	そふのう <small>和州郡名</small>	十河額	そかうひら
底筒男	そこのつと <small>櫻羽住吉の一座</small>	蕪民書札	そくろく	宗祇法師	そうきやうじ <small>人名</small>
衣通姫	そとつらひめ	卒中風	そつちゆうふう <small>病</small>	袖九帳	そできやう
袖岡山	そでとうりやま	十河一存が頭髪よ	伊勢飯野郡あり 土人阿坂山といひ		

六言

⑦四言 五言 六言

三十二

存亡死生	そんがうしせい	蘇迷盧山	そあひらのやま <small>須弥山のこと 經説より</small>
尊圓親王	そんゑんしんじやう	尊丈某	そんぢやうそれかー
素盞烏尊	そこのをのここと	文章假字用格卷二	⑦七言 八言 九言
蕪民将来	そんみやうらい	祇園の末社なり	
尊圓親王	そんゑんしんじやう	青蓮院十八世書法を 世尊寺行尹に受く	
素盞烏尊	そこのをのここと	神名	
蕪民将来	そんみやうらい		
尊丈某	そんぢやうそれかー		

三十三 黄葉園藏

む り む め む

てうつ かと み こふ く う

袖にて顔をよくけり
枕の草紙よみえり

都部

一言

つツ

都通追兔兔鬪屠

清音

豆逗途圖徒

清濁二音

頭濁音

二言

退

ついで

唾

津液つひ

石路

草つひ

通

つう

痛

つう

堆

つわ

追

つわ

對

つわ

築

つこ

辻

和字十字街をつこ

旋毛

馬毛のつむつこ

杖

つゑ

筇

つゑ

遂

つひ

終

つひ

ひ ぬき お うせい

つ 二言

三十三

三言

築地

宮垣ついで

壺井

河内ついで

仕

主君ついで

遣

ついで

躑躅

木ついで

頭痛

病ついで

續

ついで

文章假字用格卷二

黄葉園藏

次序

ついで

擇食

女のついで

會

ついで

事

父母ついで

番

ついで

筒井

氏ついで

鼓

樂器ついで

筑城

豊前ついで

集

病ついで

痞

病ついで

使

ついで

襪

ついで

聯綿

ついで

通路

ついで

墮栗花

ついで

支

ついで

都合

ついで

傳

ついで

葛藟

艸ついで

都筑

氏ついで

通事

ついで

う つた かとや そ い

と か ち せ い ひ よ く か

鶴澤	戊 <small>十幹の二</small>	兵	衝立	啄	四言	頭風	追補	追加	追儼
つゝざい	つちのえ	つひの	ついたて	つひむ		遂	追思	追加	追儼
遣	頭頂	松明	築牆	築牆	費	案	机		
つゝはす	つらぎ	ついまろ	つひぢ	つひぢ	つひぢ	つくゑ	つゝゑ		
塚原	釣竿	甲士	培	朔日					
つゝはら	つゝさき	つひの	つゝゑ	ついたら					
徒然	彈								
ひまそとさびあはれをこぞ	つゝおと								

三言 四言

三十四

ま き け ま く か うむらねつ

文章假字用格卷二	試金石	蹴然	椽棒	追薦	追風	追補使	通例	支頤	良人
ついで	つまづ	つゝざう	つおせん	つおふう	つおほし	つおほし	つうれい	つらび	つれあひ
月岡	越	償	堆紅	追討	通計	飄石	約	約	約
つぎをう	つまづ	つゝあひ	つゝかこう	つゝたう	つゝけい	つゝん	つゝまろ	つゝまろ	つゝまろ
辻番	蹶	償	堆朱	追悼	痛風	礫塔	恒岡	恒岡	恒岡
つゝむん	つまづ	つゝのひ	つゝあま	つゝたう	つゝふう	つゝた	つゝをう	つゝをう	つゝをう
颯	躓	蹄躡	蹲居	堆漆	追啓	追放	通用	恒川	恒川
つゝろせ	つまづ	つゝまのり	つゝくま	つゝあま	つゝけい	つゝほう	つゝよう	つゝがわ	つゝがわ

黄葉園藏

暴風の下より上へ
吹あぐさる

旋風

つをを

辻占

つをうら

道路を往來の人の話
をこて吉凶を占ふなり

五言

夙起

つとよむき

乗込

つちをらひ車具

鶴岡

つらむをり相州鎌倉よりあり

錦荔枝

つれい州

津乎浦

つをのうら豫州野間郡よりあり

使番

つひだん

馭

つらひうま馬術を馭法といふ

傳聞

つこころ

流聞

つこころ

九折

つらさをり

互折

つらさをり

繩組

つらさをり

羊腸

つらさをり

都官羊のそらつらまの幾重よも
曲りあるその故よたつて

追従

つおきり

角椽

つとらひ川の兩岸へ綱を引て
それを便して渡りなり

草

つとらひ禪宗の称号

追従

つおきり毛のあらを皮といひ毛を
去るを草といふ

甘藷

つとね菜

彈指

つまやう源氏物語よそそらり合点せん
たれよ白点を記し置なり

突倒

つまたん嫌ひよくむさきとて
いまもり詞なり

爪印

つまぢり

桃花馬

つんげう獸

觥

つんげうたて遣の最初よすを
界下して詞なり

月宴

つきのらん月見の酒宴

露拂

つゆをらひ

津田細江

つこのやそえ江州蒲生郡よりあり

辻社

つとやう道邊の小社なり

終道

つひのこち世俗其途をきつてなり

通靈草

つらむをり江帥の説よつ冠ハ當時
世に用う所のものなり云

六言

奉仕

つらうまつ

傳授

つへさづく

文章假字用格

卷二

鼓筒

つとこのう

常習

つねのあらひ

通靈草

つらむをり忍ぶなり

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

文章假字用格

卷二

四言 五言

三十五

うねつ たか わい ひ表 由 き ま

くのわう か つに かを ちち

文章假字用格	鼓筒	奉仕	六言	辻社	月宴	爪印	甘藷
卷二	つとこのう	つらうまつ		つとやう	つきのらん	つまぢり	つとね
①	常習	傳授		終道	桃花馬	彈指	彈指
	つねのあらひ	つへさづく		つひのこち	觥	源氏物語よそそらり合点せん たれよ白点を記し置なり	嫌ひよくむさきとて いまもり詞なり
	通靈草	津田細江					
	つらむをり	つこのやそえ					
	忍ぶなり	江州蒲生郡よりあり					
	黄葉園藏						

角椽	羊腸	九折	馭	錦荔枝	夙起	五言
つとらひ	つらさをり	つらさをり	つらひうま	つれい	つとよむき	
草	都官	互折	傳聞	津乎浦	乗込	
つとらひ	つらむをり	つらさをり	つこころ	つをのうら	つちをらひ	
毛のあらを皮といひ毛を 去るを草といふ	禪宗の称号	山道のけりあぐ曲折 あぐさなり	流聞	使番	鶴岡	
			つこころ	つひだん	つらむをり	
			つらさをり	つおきり		

五言 六言 七言

三六

通天橋 つうてんけう

京師東福寺の境内あり

妻戀草 つまこひぐさ 紅葉

黄楊小櫛 つげのをこ

附書院 つけあかえん

月桂 つきのうらら

月出汐 つきのでてあや

月鼠 つきのねずめ

露命 つゆのいのち 經論に出る譬喩の言あり

月水 つきのさとり 婦人の経水を云

服従 つこまごころ

露命 つゆのいのち

乗敵 つひえよの

七言

壺碑 つぼのいし 奥刃あり

頭北面西 つねくめんさい 如來涅槃の牀坐せり

蛸螻 つくくがらし 七八月のとろろ鳴く蟬なり

白英 つくこのひひね 万葉集に見ゆ月のこと月人のうつろひも桂男のしるしなり

月人壯 つまひこをこ

きけま ひや や く さ と

八言

兵部省 ついのつらさ 官名

謹言 つまんでまうら

對灯燈 つたのちやうらん

白顛馬 しんねんば

九言

傳承 つこうけたまうら

十一言

夙興夜寐 つくよあさよのよいねる

朝早く起きて夜おそく寝る勤まをけむこと

文章假字用格卷二の八言 九言 十一言

三十七 黄葉園藏

穨部

穨 二言 三言

三七

一言

穨子 穨年尼泥涅佞涅

二言

佞 ねい

鋤鋤 ねぢ鉄炮の具

根尾 ねを氏

根津 ねづ氏

年 ねん

饒 ねう

尿 ねう漢音ゴウ

三言

寢入 ねいり

根芋 ねいも

重問 ねどひ

紵 ねぢ

願 ねがひねがひ

狙 ねらふ俗ニ狙の字を

寢起 ねおき

寢起 ねおき

うむつをぢい

ねらかちとい

ナひきみ こよ

ひつめい い

き わら

睡 ねむ今根かりとも根びきとも

眠 ねづ

舐 ねづかみ

掘 ねこ病

鼠 ねず鼠

宿水 ねみ

根占 ねまめ

寢冷 ねびえ

四言

佞辨 ねいべん

佞奸 ねいけん

佞人 ねいじん

練塀 ねりべい

根尊 ねねい

寢忘 ねんぼう

熱湯 ねつとう

年頭 ねんとう

年號 ねんごう

年齢 ねんまい

年内 ねんない

年來 ねんらい

年功 ねんこう

饒鉢 ねうま

饒舌 ねうぜつ

根合 ねあわせ

昔蒲の根の長さを合せ圖すをいふ

勞 ねうらふ

文章假字用格卷二

黄葉園藏

五言		涅槃像	ねんぼう	佞人	ねちげびと	練供養	ねりごやう
願	ねんごん	願書	ねんごん	熱病	ねつびやう	念願	ねんごん
念入	ねんいり	念遣	ねんつゝ	念願	ねんごん	鼠走	ねずまをり
子亥神	ねわめくま	鼠走	ねずまをり	鼠色	ねずみいろ	根問葉問	ねんみづひ
鼠色	ねずみいろ	根問葉問	ねんみづひ	年行事	ねんごんじ	七言	

すか ねつ かぞちえ

むと

ナ び

年八禮	ねんちのまい	年季奉公	ねんきやうこう
搜	ねんごん	八言	
年々歳々	ねんねんざいざい	念佛三昧	ねんぶつさんまい
九言	ねんごん	十言	ねんごん
年中行事	ねんちゅうぎょうじ	念々称名	ねんねんしやうめい

文章假字用格卷二 ね七八九十言

三十九 黄葉園藏

奈部

一言

かナ 奈南難儼那娜乃

二言

内

かい

繩

かえ

直

か

尚

か

猶

か

苗

か

秧

か

名和

か

摩

か

撫

か

囊

か

瑙

か

腦

かう

地震

か

納

か

衲

か

絢

か

萎

か

漢音

か

衲

か

三言

内意

か

名印

か

内外

か

内記

か

内儀

か

内侍

か

乃至

か

浪華

か

隱

か

繩手

か

撮

か

浪華

か

難波

か

直入

か

瘡

か

直衣

か

矯

か

蹇

か

鳴尾

か

名折

か

奈河

か

永井

か

長井

か

中居

か

轅

か

名代

か

薺

か

煩

か

腦

か

七尾

か

習

か

效

か

文章假字用格卷二

黄葉園藏

鋪魚	内縁	内癰	内方	四言	詰	歴易	男兒	成相
かひさい <small>魚</small>	かいえん	かいうり	かいてう		かまづ <small>瘡</small>	かんと	かんと	かんと <small>讃岐</small>
苗代	内宴	内談	内辨		熟	難字	乃	乃
かひしろ	かいえん	かいてん	かいてん <small>官</small>		かまづ <small>魚</small>	かんと	かんと	かんと
蛭蟬	内奏	内藤	内藤	三言	名塩	名前	汝	汝
かひせ <small>虫</small>	かいてう	かいてう	かいてう <small>氏</small>		かまづ <small>地名</small>	かまづ	かんと	かんと
難波津	内濟	内通	内用		梨子地	澤瀉	難治	難治
かまづ <small>地名</small>	かいてん	かいてう	かいてう		かまづ	かまづ <small>水草</small>	かんと	かんと

三言 四言

四十

南曹	南風	播原	擬	中衛	中絶	成合	猶更	猶々
あんそう	あんふう	あいらん <small>氏</small>	あがらふ	あうのゑ	あうたえ	あうあひ <small>氏</small>	あうさら	あうく
藤原氏の學校 勸學院とす	難風	俗	納豆	外衛一對一兵衛と つう官名なり	長月	長岡	等閑	直會
	あんふう	あいらん <small>風俗のこゝ</small>	あうとう	あうのゑ	あうつき <small>九月のこゝ</small>	あうたう <small>氏</small>	あうざん	あうらい <small>公事</small>
難澁	何条	難題	准	長澤	半井	中折	産業	尚又
あんじふ	あんでう	あんだい	あうらい	あうざい <small>氏</small>	あうらふ <small>氏</small>	あうし <small>紙</small>	あうざん	あうまた
脳亂	南條	南鐔	習俗	中澤	仲人	中川	農	尚更
あうらん	あんでう <small>氏</small>	あんとしう	あいらん	あうざい <small>氏</small>	あうらうど	あうがら <small>氏</small>	あうざん	あうさら

文章假字用格 卷二

黄葉園藏

埋名	猶以	内評	茂	並河	納采	生魚	妙美
あまごころ	かやうて	かひひやう	かいはう	あひら <small>氏</small>	あふさい	かまうと	あまらう
中違	名取川	名西負	内外	並居	納銀	愁	難
あまごころ	かこうがわ <small>名所</small>	あしやう	かいはう	あまらう	あふぎん	あまひ	あまらう <small>鬼</small>
中直	化生	内證	内證		納受	泥醉	生貝
あまごころ	あうづう	あまごころ	あまごころ		あふう	あまひ	あまがひ
					虫	投入	鯰江
					あまごころ	あげり	あまがえ <small>氏</small>

五言

か

四十一

長生	難行	名残惜	啼澤女	濟壞	内大臣	尚侍	典侍
あまらう	あまごころ	あまごころ	あまごころ <small>神名</small>	あまごころ	かんだいじん	かひまのり	かひのり
存命	難病	薙拂	滑草		内教坊	内侍所	仲人口
あまらう	あまごころ	あまごころ	あまごころ		かひけうぼう <small>禁中の名所</small>	かひまごころ	あまごころ
名付親	荊	薙倒	涙川		内親王	長別	
あまらう	あまごころ	あまごころ	あまごころ <small>名所</small>		かひまごころ	あまごころ	

六言

文章假字用格卷二

黄葉園藏

三種の神器の神鏡をいつき
祭るところ禁中よあり

鳴鳥合	あいつりあわせ <small>色を賞むる鳥を闘せしむる</small>	勿入淵	あつりそのち <small>河内淡田郡諸福村に在</small>
難波都	かたはのこやと <small>攝津國 仁徳帝の都なり</small>	襪衫	かかぶのころも <small>衣服</small>
中臣稜	あつとこをらひ <small>大後を中臣氏掌り故に世俗にあつとこを呼ぶ</small>	七度詣	かたびまうて <small>一日七度詣り</small>
七弦琴	あつとこと	七瀬袂	あつとこと <small>公事なり</small>
南圓堂	あんなだう <small>南都弘福寺の内あり</small>	雙丘	あつとこと <small>京師西山あり</small>
亡跡吊	あつとこと	難追祭	かたまり <small>遠江國淡路國五社の神事なり</small>
七言		隨分	あつとこと
この世がうらのなまき まられをり		永訣	あつとこと <small>死をり</small>
猶小川	あつとこと	南無三寶	あつとこと

か五言 六言 七言

南圓浮提	あんなぶだい	南瞻部洲	あんなべんぶしう <small>須弥山の南の國をり</small>
夏越袂	あつとこと	七織帳	あつとこと
八言		長岡都	あつとこと <small>聖武天皇の都</small>
九言		内外清淨	あつとこと
難行苦行	あつとこと	流灌頂	あつとこと
南無妙法蓮華經	あつとこと		

文章假字用格卷二 七八九十三言

良部

一言

らラ 良浪羅囉邏羅樂

二言

頼 らい

雷 らい

來 らい

萊 らい

勞 らう

朗 らう

郎 らう

粮 らう

老 らう

浪 らう

牢 らう

廊 らう

狼 らう

蠟 らう

臘 らう

三言

二言 三言

四十三

い

う

ふく

い

來駕 らい

雷雨 らい

頼婦 らい

禮記 らい

晶紙 らい

老醫 らい

老婆 らい

老尼 らい

老母 らう

廊下 らう

勞苦 らう

老父 らう

老後 らう

老師 らう

老子 らう

牢死 らう

落字 らく

蠟地 らく

蠟紙 らく

四言

禮盤 らい

來訪 らい

禮拜 らい

雷盆 らい

來臨 らい

來往 らい

來迎 らい

禮堂 らい

來歴 らい

來納 らい

雷火 らい

來陽 らい

文章假字用格卷二

黄葉園藏

蠟燭	洛西	落帶	落梅	老少	牢居	牢興	老屈
臘月	臘色	洛陽	洛東	狼藉	老人	牢獄	老耄
蠟石	臘梅	落葉	落淚	老衰	牢舍	朗詠	粮米
羅背板	蠟印	絡繹	落題	落胤	牢守	勞役	老功

老僧	老學	牢人	勞煩	蘭秋	亂行	落花	癩瘡	雷公
老足	老眼	郎等	勞廢	亂世	卵塔	亂妨	雷神	來緣
牢浪	勞疾	老女	狼狽	濫吹	亂花	濫妨	埽造	雷電
勞鬱	老體	老翁	浪人	亂調	亂抗	亂邦	羅綾	禮讚

三言 四言

四十四

五言

雷丸	らいごん	來客	らいきやく	來春	らいしゆん
來生	らいしやう	癩病	らいびやう	羅漢樹	らいわんじゆ
無薦次	らゐせんじ	亂中	らんちゆう	藍姑草	らんこそう
亂曲	らんきやく	濫觴	らんさう	老若	らうじやく
老母草	らうぼくさ <small>草</small>	老萊子	らうらいし <small>人名</small>	老武者	らうむしゃ
牢腐	らうふ	郎從	らうじゆう	癆症	らうしやう
老病	らうびやう	落著	らくちやく	洛中	らくちゆう
洛外	らくがい	落掌	らくさう	落飾	らくしやく

うむい まく うむ

落城

らくしやう

六言

蘭奢待	らんしやたい <small>南都東大寺名香の名</small>	亂拍子	らんびやくし	良辨杉	らうべんしん <small>南都よわり</small>
勞浪身	らうらうみ	朗詠集	らうえいし <small>書</small>	老人星	らうじんせい
洛陽花	らくやうか	洛神珠	らくしんじゆ	羅城門	らじやうもん
來迎柱	らいりゆうちゆう	亂顛翻	らんてんぱん		
勞而無功	らうゐるむこう	老少不定	らうせうふぢやう		

七言

八言

武部

一言

武牟無无鵠勢霧夢

二言

郁子 むべ 瓜類

無位 むね

三言

無意氣 むいそ 室原 むろふ 地名

武藤 むとう氏

無類 むるわ

嚮 むろひ

迎 むろひ

向 むろひ

無用 むろふ

向井 むろい氏

無方 むろふ

二言 三言

四十六

よ かつちとせろい かへ

あめ さえけくらのま た

あみきらあ き かまちろ

無體 むたい

無題 むだい

無刀 むとう

牟禮 むらい氏

無能 むのう

連 むらふ 氏

酬 むくい

報 むくい

無藝 むげい

無縁 むえん

無益 むえき

無妻 むさい

夢想 むさう

無銘 むめい

貉 むらあ 獸

四言

室之江 むろのえ

紀伊の牟婁郡の海をりり

無住 むぢゆう

無量 むりやう

向峯 むろを 万葉に見えり

嫡 むろひめ 正妻なり

迎火 むろび

簇居 むらゐる

羣集 むらむら

胸板 むろい

刺 むらび 馬具

村岡 むらむら 氏

無官 むらむら

無義道 むぎだう

無名 むらむら

無上 むらむら

文章假字用格卷二

黄葉園藏

ひ

無常 むじやう 無病 むびやう

五言

無方者 むほうしや 當面 むうめん 對城 むうじやう

逆風 むさうぜ 胛骨 むうずね 無道心 むだうしん

胸支 むかつかえ 厖犬 むくげいぬ 綿羊 むくひつゑ

衿麴杖 むぎれすき 麴篩 むぎふるひ 無名異 むなづい

無盡藏 むじんざう 齧齒 むくろくひ

六言

向日宮 むすみのみや 日向岡 むすひのたけ 武藏の國忍岡の相向地をとり

か

かみきくかた

かえ

三四五六言

四十七

夢窓國師 むそうこくお 夢窓枕 むそうまくら 紫色 むらむらいろ
紫草 むらむらぎ 無間地獄 むげんぢごく 無佛世界 むぶつせかい

七言

無品親王 むびんちんおう 夢幻泡影 むげんぼうやう

無始曠劫 むしきうくわつ 無上菩提 むじやうぼだい

無善造惡 むぜんざうあく

八言

無官大夫 むくわんのたいふ 武者修行 むさやうしやう

九言

文章假字用格卷二

黄葉園藏

武藏坊辨慶

①

ひさしむらうべんけい

四十八

文章假字用格卷之二 終

